

ソ連見たまま (2)

今井成子 (東崎)

黒海沿岸のソチは非常に気候がよくて暖かく、前は海、後ろは山と緑に包まれた美しい保養地です。ここでは十月だというのに海水浴をしている人たちもいました。

ここは労働者の保養地として、たくさん立派なサナトリウム保養所、休息の家が建てられ、多くの人たちが夏休みに休息したり、体調を整えたり、保養して書き物をしたりと、転地療養とともに明日への鋭気を養っており、うらやましい限り。私たちもこんな休息地がほしいと思いました。一カ月に二日ほど来ればあかが抜け、疲れのないすっきりした気持ちで市民の皆様にも接することができるのではないかと話し合ったことでした。

こうしたサナトリウムには病気の治療の簡単な施設もあり、労働組合の証明を持って来た人は無料で。近所の人や電話予約などで来る一般の人も医療の分野は無料で、休息の場合には食事を含めた費用「非常に安い費用」の三割が個人負担ですから、わずかの費用で休息できることになっています。このサ

ナトリウムは厚生省、医療の分野は保健省の管轄です。

ソチのホテルにはカナダやフィンランドから来た人など、多くの外国人が来ていました。どこの国か聞かれ、「ジャバニーズ」と言っていると、「ノー・モア・ヒロシマ・ナガサキ」と言って握手を求めるのです。私たちの方が驚きました。私たち一行の中に母子で来ている人がいるのですが、レニングラードのホテルで部屋に入ろうとしたところ、ホテルの世話をするおばさんが「親子か」と聞きました。「そうだ」と言っていると、おばさんはお母さんに抱きつき、「私は三歳のとき戦争で母を亡くした。戦争は嫌だ。」と涙を流して語っていました。

大きな街では広い道路の真ん中に三方を囲む白い手、黄色い手、黒い手の固い閉結を表す看板が立てられています。これは国際平和年のキャンペーンとのことで、「平和は連帯と個人の責任でつくり上げなければならない」と書かれており、平和への関心の強さを示しています。どこでも、またど

の人に会っても平和への願いに満ちあふれています。この国の人がどうして戦争など起こすものぞと思いました。

泥棒のない国、チップの要らない国、また買物は国営ですから、どこで買っても値段は同じです。花、果物、作物、肉、自分たちで作った食べ物なども、少し値段は高いものの、市場(バザール)で新鮮なものが買えます。日常の生活費はほんとうに安く、車やカラ一テレビ、衣類(高価なもの)は高いと聞きました。(つづく)

今月の納税

固定資産税(3期分)

国民健康保険税(4期分)

納期限は12月25日です

国民健康保険

高い医療費の伸び

(8)

六十年年度国保特別会計のまとめにより、数字で国保のあらましをお知らせします。(別表参考)
本市の国保加入者総数は一万七千四百九十八人(七千五百五十世帯)で、近年は横ばいの現象となつています。

これに対し医療費の伸びは、毎年十五%以上の上昇を見、県下でも高い伸び率を占めています。表で見ると、一人当たりの保険税は四万五千六百五十一円で、これに対する医療費は十四万五千三十四円となりました。

国保会計は、国保税と国からの支出金で賄われていますが、近年の医療費の伸びに対して今後いっそう激しくなる国の財政援助などを考えると、ますます健全な財政運営を余儀なくされています。

医療費が増えると、当然のこととして被保険者の皆さんに負担していただく国保税に影響することはたしかです。医療費の抑制、あるいは国保の健全運営は、皆さんのご家庭の一人一人の健康づく

りからスタートすると言っても過言ではありません。

国保係へのお問い合わせは ☎ 2111 内線 135 まで
【市民課国保係】

数字で見た国保(六十年年度)

加入世帯数	7,150 世帯	
加入者総数	17,498 人	
うち	老人医療	2,787 人
	退職医療	1,441 人
	一般	13,270 人
1人当たりの保険税	45,651 円	
1人当たりの医療給付費	140,534 円	